

の ぼ タ よ た い こ 告

な が 田 小 一 年 ま き の け い た

「 き ょ う は 、 み ん な で 、 た い こ 告

に の ぼ う う 。 と お と う さ ん が 言 い ま し た 。

た い こ 告 は 、 ぼ く い と て あ こ が れ の 場 し ょ で す 。

の あ る と も だ ち が え が お て たい の あ る と も だ ち が え が お て たい

こ 岩 の い い と こ う を 教 え て く れ る こ 岩 の い い と こ う を 教 え て く れ る

か ら で す 。

な が 田 か ら 車 で 四 十 分 。 よ う や て す ぐ 、 大 き な 岩 が あ り ま し た 。

く 入 口 に つ き ま し た 。 歩 き は じ ゃ ど う や て の ぼ う て い い の か お

6 5 4 よみやすいように、と。をつけましょう。・も。もひとまずのなかにかぎましよう。
おはなししたことは、「」のなかにいれましょう。
「は」と「わ」・「く」と「え」・「お」と「を」をまちがえずにつかいわけましょう。

3 2 1 だいもへは、一時的ために、がつこう・がくねん・くみ・なまえは、一時的ためにかき、ぶんしようと、二時がつめのほんめのまづからかきましよう。
だんらへのはじめは、かならず、一じきげてかきはじめ、だんらへじと、二時がつめをかえましよう。
しほどのぎょうも、ばんめのまづからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ひび

(不 許 複 製)



からないくらいの岩で、キと足を
いぱいのばしてすすみました。
元気いぱいのおとうとも、い
しょうけんめいついてきます。と
てもかわいかたです。
森の中をすすむと、スギとコケ
がいぱいの、みどりのせかいが
ひろがていました。その中は、
バレリーナのようだが、かわいいピ
ンクの花がさじていました。川の
ながれる音やサルのこえが、ぼく
の足に元気をくれて、気がつくと
どんどんすすんでいました。

口一語をつかてのぼるところ

よみやすいように、と。をつけましよう。も。もひとまずのなかにかきましよう。
おはなししたことは、「」のなかにいれましよう。
「は」と「ね」・「く」と「え」・「お」と「を」をまちがえずにつかいわけましよう。



だいもくは、「あつめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは」「がよめにかき、ぶんしょうは」「あつめの」「ばんめのますからかきましよう。
だんらくのはじめは、かならず一じきげでかきはじめ、だんらく」と「がよつをかえましよう。
しばどのきょうも三ばんめのますからかきましよう。

や、石の上をあたるところはスリ
 ルまん点のたんけんみたいです。
 キ(キ)うな山みちとのぼりて、たど
 りついたたいてこ岩は、とおくの高
 い山と青い空、そして、たにのみ
 どりと白い川が、とてもかっこよ
 く見えました。名まえのとおり、
 岩をたたいてみたら、ボンボンと
 たいこの音がしました。
 これがからは、ぼくがみんなに、
 ばんです。一人でも多くの人が、
 たいこ岩にのぼって、がっことよさ
 をがんじてくれたうれしいです。

だいもへは、「さようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは」、「おもづめにかき、ぶんしょうは」、「あようめの「はんめのますからかきましょう」。
 だんらくのはじめは、「かならざ」、「じさげてかきはじめ」、「だんらく」などにあようめをかきましょう。
 しほどのあようめは、「はんめのますからかきましょう」。

月 日 ようび

